

業績の推移

(単位：千円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受注高	1,480,867	2,004,030	1,335,479
税引前利益	38,919	157,367	161,232
当期利益	27,103	101,841	114,568

当期における業界の営業環境は、県北沿岸北部地区で震災復興事業や4年来前に発災した台風災害の復旧事業の最終盤の事業予算に依存するところが大有りあります。

当社の売上高においては、前年同期より668,551(千円)減の1,335,479(千円)となりました。

売上減に転じた要因として、工事の工期が長期にわたる案件が多かったことによると認識しております。

来期以降の見通しは、最終局面を迎える災害復旧等の公共工事に加えて当社の得意とする道路工事の予算縮小の加速や、若手労働者の不足が懸念され、次期以降の受注高確保は一段と厳しいものと想定しております。

今後は、固定費削減に更に努め、県北沿岸広域地区の公共事業を主とする地元貢献に寄与し、民間工事の受注にも更なる努力をしていきます。

現状化において、社全般に引き続き経営合理化と基盤を確立維持して、ウィズコロナの令和新時代を社員一同努力と研鑽を重ね果敢に挑戦していく所存でございます。